

## ネイティブ・アエロバクター・アエロゲネス・サルファターゼ

Cat. No. NATE-0686

Lot. No. (See product label)

## はじめに

**説明** 硫酸エステラーゼ EC 3.1.6.1 は、硫酸エステル加水分解を触媒するエステラーゼクラスの酵素です。これらは、ステロイド、炭水化物、タンパク質など、さまざまな基質上に存在する可能性があります。硫酸エステルは、さまざまなアルコールやアミンから形成されることがあります。後者の場合、得られたN-硫酸塩はスルファメートとも呼ばれることがあります。硫酸エステラーゼは、環境中の硫黄の循環、リソソーム内の硫酸化グリコサミノグリカンおよびグリコリピッドの分解、細胞外空間における硫酸化グリコサミノグリカンの再構築において重要な役割を果たします。硫酸転移酵素と共に、硫酸エステラーゼは硫酸エステルの合成と分解のための主要な触媒機構を形成します。

**用途** *Aerobacter aerogenes*からの硫酸エステラーゼは、ユグリナのミトコンドリアとクロロプラストによるチロシンO-硫酸塩の形成を評価する研究に使用されました。

**別名** EC 3.1.6.1; 9016-17-5; サルファターゼ; ニトロカテコールサルファターゼ; フェノールサルファターゼ; フェニルサルファターゼ; p-ニトロフェニルサルファターゼ; アリールスルホヒドラーゼ; 4-メチルアンペリフェリルサルファターゼ; エストロゲンサルファターゼ; アリールサルファターゼ

## 製品情報

**由来** エアロバクター・エアロゲネス

**形態** 緩衝水性グリセロール溶液; 0.01 M Trisを含む50%グリセロールの溶液、pH 7.5。

**EC番号** EC 3.1.6.1

**CAS登録番号** 9016-17-5

**活性** 2-5 ユニット/mg タンパク質 (ビウレット)、10-20 ユニット/mL

**濃度** 10-20 ユニット/mL

**単位定義** 1ユニットは、37°CでpH 7.1の条件下で1.0μモルのp-ニトロフェニル硫酸エステルを1分あたり加水分解します。

## 保管・発送情報

**保存方法** -20°C